

2026 年 7 月 14 日

神奈川県立公文書館の企画展示 「二俣川 100 年の記憶―駅とまちの歩み―」に協力 コラボ企画として 1990 年代の二俣川駅「駅名標」の復活、 「ほほえみ号」のパネル展示も

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道（本社・横浜市西区、社長・平野 雅之）は 2026 年、相鉄本線の二俣川駅～厚木駅間（1926 年 5 月 12 日開業）、上星川駅～二俣川駅間（1926 年 12 月 1 日開業）の運行開始から 100 年という節目を迎えます。

二俣川駅を最寄り駅とする神奈川県立公文書館（横浜市旭区）（以下、同館）では、7 月 17 日（金）から 9 月 27 日（日）までの期間、二俣川の「駅」と「まち」が歩んだ 100 年をひもとく企画展示「二俣川 100 年の記憶―駅とまちの歩み―」（以下、本展示）を開催します。相鉄グループは本展示に協力し、期間中同館において戦前の沿線案内リーフレットや、初公開映像を多く含む 70 年前の動画、懐かしい駅や車両の写真などの鉄道関連物品を多数展示します。

本展示では、二俣川の「駅」と「まち」が歩んできた 100 年の歴史を振り返ることができる他、会場では電車の硬券をイメージした閲覧記念券に、その場で入 ^{にゅうきよう} 缺してプレゼントする企画も実施します。

相模鉄道ではコラボレーション企画として、二俣川駅改札付近に、1990 年代の駅名標を掲出します。また、同社が 1983 年から 1991 年に運行していた、お花の絵をあしらったグラフィックカー「ほほえみ号」のデザインを施した 20000 系電車の顔出しパネルを同館に設置し、記念撮影をお楽しみいただけます。

相模鉄道は、皆さまとともに歩んできた歴史と軌跡を振り返り、感謝をお伝えするとともに、次の 100 年に向けてさらなる魅力創出に取り組んでまいります。

概要は別紙のとおりです。



展示資料の一部（イメージ）

「二俣川 100 年の記憶一駅とまちの歩み」の企画展示の概要

1. 開催期間・時間

2026 年 7 月 17 日 (金) ～9 月 27 日 (日) 9:00～17:00

※毎週月曜日、祝日、7 月 21 日 (火)、9 月 24 日 (木) は神奈川県立公文書館の休館日となります。

2. 開催場所

神奈川県立公文書館 1 階 展示室 (神奈川県横浜市旭区中尾 1-6-1)

・相鉄本線「二俣川駅」徒歩 17 分

・相鉄バス「運転免許センター」徒歩 3 分

3. 料金

入館・観覧無料

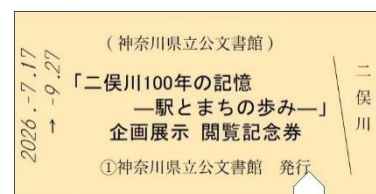
4. 内容

○展示

二俣川の「駅」と「まち」がどのような 100 年を歩んできたのかを振り返ります。神奈川県立公文書館が収蔵する歴史資料 (公文書・古文書・私文書) の他、相鉄グループが所蔵する戦前の沿線案内リーフレットや、初公開映像を多く含む 70 年前の映像資料、かつての駅や車両の写真などの鉄道関連物品も多数展示します。

○硬券をイメージした「観覧記念券」プレゼント

ご来場者の皆さまへ、硬券をイメージした観覧記念券をその場
で入館券としてプレゼントします。



5. 主催・協力

主催：神奈川県立公文書館

<https://archives.pref.kanagawa.jp/>

協力：相鉄グループ

<https://www.sotetsu.co.jp/>

6. その他

本展示の詳細は、神奈川県立公文書館の公式ウェブサイトをご確認ください。

<https://archives.pref.kanagawa.jp/exhibition/exhibition/futa100.html>

相模鉄道 100 年の歩み

○沿革

- ・1926 年 5 月 相模鉄道の前身である神中鉄道が、二俣川駅～厚木駅間で開通
- ・1926 年 12 月 相模鉄道の前身である神中鉄道が、上星川駅～二俣川駅間で開通
- ・1933 年 12 月 神中鉄道 厚木駅～横浜駅間全線開通
- ・1941 年 11 月 相模国分 (貨物駅) ～海老名駅間で開通、これに伴い厚木駅～相模国分 (貨物駅) 間の旅客運輸営業を廃止
- ・1943 年 4 月 相模鉄道が神中鉄道を吸収合併し、神中線は相鉄線となる
- ・1976 年 4 月 二俣川駅～いずみ野駅間で開業
- ・2019 年 11 月 相鉄・JR直通線が開業
- ・2023 年 3 月 相鉄・東急直通線が開業
- ・2026 年 3 月 新型車両「13000 系」の運行を開始

相模鉄道によるコラボレーション企画の概要

1. 二俣川駅「駅名標」展示（二俣川駅構内）

1990年代に使用したデザインを復元した駅名標を展示します。



2. グラフィックカー「ほほえみ号」顔出しパネル展示（神奈川県立公文書館内）

「グラフィックカー」とは相模鉄道で1980年代から2000年代初頭に運行された、車体全体を絵画的なデザインで彩った電車のことです。1983年にグラフィックカー第1号として、相鉄線の横浜駅乗り入れ50周年を記念して登場した「ほほえみ号」。イラストデザインはアニメーション作家の久里洋二氏によるもので、車体に全面塗装でデザインされた同車両は、1991年まで運行しました。本展示では、20000系電車の前面に「ほほえみ号」のイラストを施し、顔出しパネルとして記念撮影をお楽しみいただけます。



「ほほえみ号」顔出しパネル
(イメージ)

相鉄グループのGREEN×EXPO 2027 Village 出展について

相鉄グループは、2027年3月19日(金)から開催される「2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)」のKids Village (キッズビレッジ) にて、「SOTETSU PARK (そうてつぱーく)」を出展します。

SOTETSU PARK のコンセプトは「ともだちとすみか」。「ともだち」は、ひとをはじめ身近に暮らす生きもの、「すみか」は、生きものそれぞれに適した住処を指し、生物と自然が影響を及ぼし合いながらも調和して暮らすフィールドを表します。子どもたちが「ともだち」に出会い、「すみか」で遊びながら触れていくことで、身近な生きものや自然を知り、守るアクションにつなげていくことを目指します。

